allcinema

アフガン零年（2003）

OSAMA

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アフガニスタン／日本／アイルランド
色彩 Color
時間 82分
初公開日 2004/03/13
公開情報 アップリンク＝ムヴィオラ

【キャッチコピー】
少女は生き延びるため少年になった

【解説】
タリバン政権崩壊後の復興アフガニスタンで製作された映画第１作。日本のＮＨＫが機材などのハード面を中心に全面サポート。タリバン政権下のアフガニスタンを舞台に、女性の置かれた過酷な状況を切実に描いたヒューマン・ドラマ。実話をヒントに、働き手を失った一家を支えるために少年に成りすまして働く少女の姿を通して、アフガニスタンの重い現実を描く。主人公を演じたマリナは実際に内戦で２人の姉を失い、５歳の頃からストリートチルドレンとして生き延びてきたという。第61回ゴールデン・グローブ賞外国語映画賞受賞。
長年の戦争の末、タリバンが政権の座についたアフガニスタン。イスラムの教えを厳格に守ろうとするタリバン政権下では、女性は身内の男性の同伴なしには外出が許されなかった。そんな中、生計を支えるべき男たちを全員戦争で失い、祖母と母親、そして12歳の少女の３人だけになってしまった一家があった。彼女たちは外出も出来ず生活の糧を失う。母親は仕方なく少女を男の子に変装させて働かせることを決意。バレた時の恐怖に怯える少女をなだめると、そのおさげ髪をバッサリと切り少年の姿にして、亡き父の戦友だったミルク屋に働きに出すのだったが…。

【クレジット】

監督	セディク・バルマク	Siddiq Barmak	
脚本	セディク・バルマク	Siddiq Barmak	
撮影	エブライム・ガフォリ	Ebrahim Ghafori	
編集	セディク・バルマク	Siddiq Barmak	
出演	マリナ・ゴルバハーリ		少女
	モハマド・アリフ・ヘラーティ		お香屋の少年
	ゾベイダ・サハール		母
	ハミダ・レファー		祖母

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.